

新着図書

図書館HPから
すべての新刊を
チェックできます



① 図書館HPを開く



② **新着一覧** をクリック

③ 条件を

☆ **新しくいった本**

🏠 **トップ / 新しくいった本**

「ティーンズ」

に絞る

新しくいった本などの紹介です。
集計条件を変更し、集計ボタンを押すと他の条件の新着資料も確認することができます。

【集計条件】 資料 **ティーンズ** 受入期間 **3ヶ月** **集計**

【結果】 3975 件

新刊ピックアップ!



中高生のための詩のつくりかた 言葉で世界を紡ぐ40のヒント

久谷雉/監修 メイツ出版 2025.10 (901/チ)

SNSやLINEなどで、自分の気持ちを手軽につづる機会も多い今の時代、詩という形で自分の気持ちを表現することの魅力伝える本です。著名な詩人たちの作品の紹介を通じて、詩の世界に触れることもできます。自分の気持ちを掘り下げて、思いを言葉にしてみませんか？



ヨコスカストーリー

花形みつる/著 理論社 2025.10 (913/ハミ)

舞台は、米軍基地のある街、横須賀。多様な国籍の子ども達が学校で席を並べるのが当たり前風景。複雑な環境で育つ子も多い、そんな子どもたちの日常が1964年ー6年生のよし子、1971年ー中学2年の光毅の視点から描かれます。それぞれの環境にとまどいながらも成長し、周囲と友情を育んでいきます。戦後の横須賀で生まれ育った著者の記憶の風景から生まれた物語。



古典への冒険

時を超えて読み継がれる名作に、
今を生きるヒントを探しに行こう！

次号
(2026年夏号)
6月1日
発行予定です



今号は、この春、ちょっと古典を手にとってみようかな、そんな気持ちになる本をご紹介しました。「ティーンズライブラ」が、皆さんの読書のきっかけとなれば幸いです。(M)

連載コラム
本好きさんになろう！

タイトルは知っていても、ちゃんと読んだことはないーそんな人が多いのが古典ではないでしょうか。でも、時代を超えて読みつがれてきたのには理由があるはず。

先人たちが心を動かされてきたのはなぜでしょう？目まぐるしく情報が飛び交う現代においても、人間の悩みや感情は意外と変わらないもの。古典は、現代の私たちにも通じる普遍的なテーマや人間の本質を描いています。古典の中には、あなたの心を動かすヒントや答えが待っているかもしれません。

口訳古事記

町田康／著 講談社 2023.4 (F/マコ)

読みやすさより、わかりやすさより、おもしろさが先にくる。そんな日本神話の本です。文章で書き記された神話を現代の日常的な話し言葉で表現すると、これほどまでに伝わりやすくなるものなのだと驚きました。町田康にかかると頭の中で日本の神々がリアルに話し出し、動き出し、日本最古の歴史書も遠い昔の出来事ではなく身近な物語に感じます。会話の部分だけを読んでも楽しめるので、これまでに古典を読んだことない人にこそ、ぜひ読んでほしい。

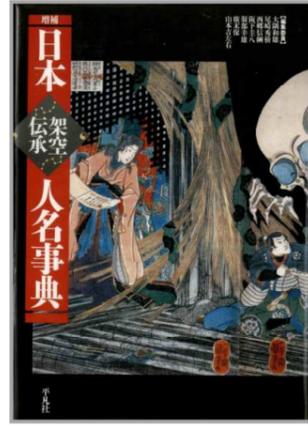


日本架空伝承人名事典

大隅和雄／ほか編 平凡社 2000.8 (R910.3/材) ※貸出禁止の資料です

かぐや姫や桃太郎は架空の人物です。では、『平家物語』の平清盛や『忠臣蔵』の赤穂浪士は物語の登場人物？それとも歴史上の人物？こんな疑問に答えてくれるのがこの事典です。

実在するかどうかにかかわらず、昔話や言い伝え、作者の想像力によって描かれた物語に名を残す人物たちについて、原典や時代背景、関連する事柄などを調べることができます。歴史の「事実」と物語や伝承の「想像」、文学と日本史の両方の観点からも深められます。調べたい古典作品についてはもちろん、この事典だけでも読み応え十分！事典を読むという意外な楽しさをぜひ体験してください。



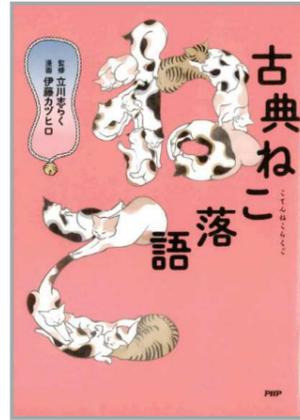
古典ねこ落語

立川志らく／監修 伊藤カヅヒロ／漫画 PHP研究所 2024.12 (913.7/タシ)

落語は漫画で読んでもおもしろい！

落語とは江戸時代に確立された日本の伝統話芸で、高座で笑い噺（ばなし）を語るものです。江戸時代にあった笑い噺を猫を主役に漫画にした本作は、感情豊かな猫たちの絶妙な表情と、江戸っ子らしいちやきちやきしたしゃべり方がなんとも言えない可笑しさとかわいらしさがあります。

猫が好きな人、漫画が好きな人、もちろん落語が好きな人にもおすすめ。



枕草子

いとめでたし！

天野慶／著 赤間恵都子／監修 睦月ムンク／絵 朝日学生新聞社 2019.9 (914/7ケ)



「春はあけぼの」という有名な一文から始まる清少納言の『枕草子』。最初の段を読み、堅い内容を想像し、敬遠している人には特におすすめします。「イケメンの話は真剣に聞ける」「刺繍の裏ってむさくるしいよね」「夜の雷怖い」「鼻炎の人つらそう」など。実は現代の人も共感できる、平安時代に書かれた等身大の日常エッセイなのです。本書は、現代語訳と分かりやすい説明が特徴です。千年前の人と自分の感性をぜひ比べてみてください。

枕草子いとめでたし！

超新釈3分で心ととのうゆる論語

蜷気羊／著 安岡定子／監修 スターツ出版 2025.10 (123.83/コウ)

2500年前の孔子の教えをまとめた書物、「論語」。古典を読んで今を生きるヒントを見出す、つまり「温故知新」、これも孔子の言葉です。歴史上の名だたる人物たちも、論語を読んで生きるヒントを得てきました。もともと短く簡潔ながらも人生の真髄を表す孔子の言葉を、さらに現代の感覚に合わせて超新釈。寝る前にゆるっと読めて、ちょっと前向きな気持ちになれる一冊です。



実はおもしろい古典のはなし

「古典の授業?寝てたよ!」というあなたに読んでほしい

谷頭和希／著 三宅香帆／著 笠間書院 2025.4 (910.4/効)



文芸評論家・三宅香帆さんと国語教師でライターの谷頭和希さんが、古典の面白さ、楽しみ方をとことん語り尽くした一冊です。平安時代から江戸時代までの代表的な古典作品を現代に置き換えながら読み解きます。「現代語訳は誰の訳が読みやすいか」「どの順番で読むか」「この図鑑があると理解しやすい」など、実践的なアドバイスもふんだんです。古典文学への足がかりに、まずはこの一冊、試してみませんか。

魔法つかいの弟子

ゲート ショートセレクション

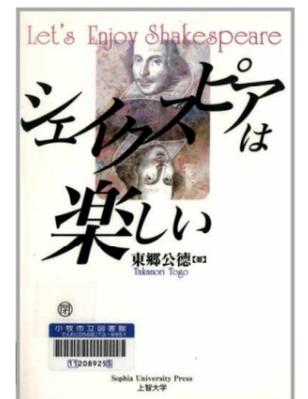
ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ／作 酒寄進一／訳 ヨシタケシンスケ／絵 理論社 2021.3 (941/ケヨ)

ゲーテは、18世紀から19世紀初頭にかけて活躍したドイツの文豪です。「魔王」の詩は、音楽の授業でシューベルトの楽曲として聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。本書では、「ゲーテは元祖ファンタジー作家」というコンセプトで集められた作品が9作掲載されています。確かにゲーテの詩は、ファンタジー小説に出てくる呪文のよう！ 明解な文章と、ヨシタケシンスケさんの挿絵で、世界文学がぐっと身近に感じられます。



シェイクスピアは楽しい

東郷公徳／著 Sophia University Press上智大学 2005.4 (932/シウ)



「ロミオとジュリエット」、「ハムレット」、「マクベス」などシェイクスピアの作品は今でも多く劇場で上演されています。しかしいざ本で読もうとするとハードルの高さを感じてしまいがち。本書は、彼の代表作12点について、作品中に頻出するテーマ、注目すべき表現の巧みさなど、その魅力を伝えてくれます。今までの印象とは違った発見があるかもしれません。

古典への冒険

時を超えて読み継がれる名作に、
今を生きるヒントを探しに行こう！

本の予約ができる
おすすめブックリスト



紹介作品（50音順）

- 口訳古事記
- 古典ねこ落語
- シェイクスピアは楽しい
- 実はおもしろい古典のはなし
- 中高生のための詩のつくりかた
- 超新釈3分で心ととのうゆる論語
- 日本架空伝承人名事典
- 枕草子いとめでたし！
- 魔法つかいの弟子
- ヨコスカストーリー

2026
春